

第5 児童発達支援センター

盛岡ひまわり学園

1 概要

- (1) 児童福祉法に基づく設置目的を踏まえ、将来社会生活に適応し、自立するための諸能力の向上に向けた療育支援に努めた。
- 児童発達支援センターとして、保護者、地域社会及び関係機関との連携を図り、より良い児童の健全育成と地域福祉の振興に努めた。
- (2) 児童一人ひとりの個別支援計画の作成について、保護者面談はもとより、児童発達支援管理責任者、クラス職員のほか、園長、副園長、相談支援専門員、栄養士を加えた個別指導会議を開催し、計画作成、モニタリング評価を行うなど、多職種連携による療育支援の充実と保護者との信頼関係の構築を図りながら、安心して利用いただけるよう努めた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症が5月より5類に移行したことに伴い、ひまわりまつり、プール教室、保育園交流会を4年ぶりに開催することができた。入園式、ひまわりまつり、うんどう会、卒園式に関しては、参加人数を制限するなど感染対策にも配慮しながら行った。保護者と連携を図り児童の健康管理に十分注意し、職員に対しては、体調管理・衛生管理を徹底し予防に努めた。また、来園者に対しては、玄関でのアルコール消毒、入退館記録表への記入をお願いした。
- (4) 保育士等養成に係る実習生の受け入れについて、大学、専門学校等の養成機関と緊密に連携し、実習生の体調管理の徹底を図りながら、児童・保護者、実習生・養成機関、職員が安全で安心して実習できる環境を整えた。

2 短期経営計画に係る実績及び評価

取組み項目 1				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
災害時等の事業の継続に関する	事業継続計画（BCP）の策定と活用	作業継続計画（BCP）の	BCPについての伝達研修を実施	令和5年7月27日（木）、今野主事が受講した岩手県経営協主催の事業継続計画（BCP）策定セミナーの内容を担当者と情報共有し、自然災害発生時の業務継続ガイドラインに沿って業務継続計画を作成した。
			調査研究した内容について検討	
			検討結果をもとに業務継続計画（BCP）を作成	

<取組みに対する評価>

- 事業継続計画（BCP）策定セミナー受講者と作成担当者による打ち合わせを行うとともに、他施設等が作成した計画の情報収取を行うことができた。今後は、作成した業務継続計画（BCP）を職員間で共有し、実践に向けて取り組んでいく。

取組み項目 2				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
地域の福祉ニーズの把握	地域の福祉ニーズ、多様なニーズへの対応	地域の福祉ニーズの評価・分析	地域の福祉ニーズの把握のための情報収集を継続する	令和5年11月4日（土）、前九年町内会集会の場を借りて、児童発達支援センター盛岡ひまわり学園について情報提供を行い、周知に努めた。また、1月10日（水）前九年子ども会交流会を実施し、終了後アンケート調査を行った。
			情報内容を整理し、評価・分析する	評価・分析までには至らなかった。

〈取組みに対する評価〉

- ・児童民生委員等との繋がりを持つところまで進めることができなかったため、今後は意見交換等を深めながら、ニーズの把握に努めていく。
- ・アンケート結果等をもとに評価・分析を行い、整備していきたい。

・ 取組み項目 3				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
適切な収益性の確保、中長期的な整備計画の不足	安定的な収益性確保に基づく計画的な施設・設備整備	施設整備計画素案の作成	施設整備箇所についてリストアップ	担当者と検討し、リストアップを行った。
			施設整備計画について素案を作成	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進検討会を毎月開催し、経営に加え施設整備に関しても情報共有を行った。 ・修繕や備品の更新についての計画案を作成。

〈取組みに対する評価〉

- ・建物の老朽化や設備の見直しに対して計画的に取り組むことの必要性を再確認することができた。令和5年度保護者評価で出た施設整備に関する要望項目をリストアップし、計画に組み込んでいく。

・ 取組み項目 4				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
業務の標準化と共有化	OJTの定着・習慣化 業務マニュアルに基づく	OJTの実施 業務マニュアルの作成	マニュアル作成のための計画作成	マニュアル化する業務についての検討を行ったが、作成までには至らなかった。
			業務マニュアルの作成・整備	
			OJTにおける目標の明確化	エルダー制度を継続して行っているが、育成計画の作成、実施には至らなかった。
			OJTにおける育成計画の作成・実施	

〈取組みに対する評価〉

- ・エルダー制度は定着しているが、それ以外での職員の役割が明確でなかったため、今後は目標を含め計画を作成し進めていく。業務マニュアルに関しても、担当者を配置し進めていく。

・ 取組み項目 5				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
法令遵守に係る標準化の不足	法令遵守マニュアルの整備と活用	法令遵守に係るチェック体制の構築	いるか教室と合同でチェック体制（いつ、誰が、何を、どのようにして確認するか）を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・①令和5年4月21日（金）、運営規程、重要事項説明書、支援計画等について②令和5年7月21日（金）、指定障害福祉サービス事業者等集団指導、つしだ教室実地指導について③令和5年11月30日（木）チェック体制の構築について、いるか教室、いるか教室つしだの児童発達支援管理責任者と情報交換会を行った。また、事業所指定基準、報酬改定、加算の取得等法令遵守に係る情報交換を定期的に行った。
			いるか教室と事業所指定基準、報酬改定、加算の取得等法令遵守に関わる情報交換会の実施	

〈取組みに対する評価〉

- ・いるか教室、いるか教室つしだと連携を図り、情報を共有することができた。
- ・令和7年1月に事業所更新手続きが控えているため、チェック体制の整備を早急に行う必要がある。

・ 取組み項目 6				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
働きやすさ、ワークライフバランス	働きやすい職場の構築	業務の明確化	業務改善案について検討	毎月行われているクラス長会議の中でクラス業務の現状と課題について意見交換を行い、改善に向けて検討することができた。
			システムの導入により業務のスリム化について検討	

			研修計画に基づきスキルアップを推進	研修への参加を積極的に促し、スキルアップにつなげている。

<取組みに対する評価>

- ・ほのぼのシステムのスムーズな運用に向けて、職員間で意見を出し合いながら活用することができた。全員が操作できるようになったことで、業務のスリム化に繋がっている。

・ 取組み項目 7				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
権利擁護と、虐待防止・個人情報保護法等の対	権利擁護、虐待防止・個人情報保護法等への対応の明確化と意識向上	権利擁護、虐待防止等についての体制の実践	虐待防止指針・身体拘束指針に基づいて実施	令和5年8月1日、虐待防止指針の一部を改正し、職員に周知した。
			実施した内容検討	令和5年7月、見学者による園児に対する虐待が起こった場合の対応について訓練を行い、内容を検討した。
			施設内研修の実施	令和5年6月に虐待防止に関する園内研修を行った。また、同じく10月16日～11月15日、虐待防止研修（基礎編）、2月16日、虐待防止研修（応用編）の伝達講習（web）を受講した。

<取組みに対する評価>

- ・職員会議等で虐待にあたる行為や行動、言動等について職員に周知し、一人ひとりが考える機会を持つことができた。今後も継続していきたい。

・ 取組み項目 8				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
取組 サービスの定期的な評価と改善の	組織的な評価、計画的な改善活動	継続 サービスの改善の評価、改善活動の	利用者満足度調査の評価・課題の抽出	令和6年1月にガイドラインに基づく保護者評価を行った。また、9月と3月に苦情解決委員会を実施し、保護者からの意見や要望等について回答した。
			課題改善に向けて検討	ガイドラインに基づく保護者評価で出された課題について抽出したが、検討までには至っていない。
			検討した内容で実施	今後検討していく。

<取組みに対する評価>

- ・ガイドラインに基づく保護者、職員評価の結果をもとに抽出した課題について検討するところまで至らなかったため、早急に検討し実施に向けて取り組んでいきたい。

・ 取組み項目 9				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
集と分析 ヒヤリハットに関する事例収	効果的なリスクマネジメント 体制の整備	のヒヤリハット報告・事故報告 手順明確化	ヒヤリハットと事故報告についての確認と共通理解	クラス長会議で確認し、職員への周知を図った。
			施設内研修の実施	ほのぼのシステムの機能を活用しヒヤリハット報告を作成。マニュアル作成には至らなかったが、内容については職員間で共有し対策を講じるなど、再発防止につなげている。
			マニュアルの作成	

〈取組みに対する評価〉

- ・一つひとつの事例に関して、職員間で共有し対策を講じることができた。今後は、ほのぼのシステムの機能を活用して科学的な統計や分析を行いながら、再発防止、事故防止につなげていきたい。
- ・リスクマネジメント研修を受講した職員と指導係とで連携し、手順を明確にしていきたい。

・ 取組み項目 10				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
感染症の対策、対応	組織的な感染症への対応	感染発生マニュアルに基づいた訓練	いるか教室と対策体制の共有・検討	いるか教室、いるか教室つしだの担当者で共有し検討した。
			感染症対策体制委員会等の構築（いるか教室と合同）	いるか教室、いるか教室つしだの担当者で見直しを行い整備するとともに、感染症発生時の業務継続ガイドラインに沿って、感染症対策に係る計画を作成した。
			感染症発生マニュアルの作成	
			マニュアルに基づいた訓練の実施	嘔吐処理の研修に参加した職員と共に園内研修を行い、実際の動き、手順を確認した。

〈取組みに対する評価〉

- ・いるか教室、いるか教室つしだと連携し作成することができた。今後は、合同で見直しをしながら、計画に基づき実践していく。

・ 取組み項目 11				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
潜在関係者	の広報活動の充実	者の広報担当者	広報担当者の設置	ホームページへの更新を継続して行っている。検討までは至らず、活動についても不十分であった。
			広報活動について検討	

〈取組みに対する評価〉

- ・新しいパンフレットの作成には至らなかったため、今後早急に作成に向けて検討していく必要がある。併せて、広報活動の内容についてリストアップし、準備を進めていきたい。

4 概要

(1) 職員の状況

(人)

職名	園長	副主幹兼副園長兼主任児童指導員	主任児童指導員	主任保育士	主事兼児童指導員	児童指導員	栄養士兼調理員	運転技士兼用務員	親子通園児童指導員	相談支援専門員	相談支援員	児童指導員補助員兼事務員	非常勤嘱託医	計
人員	1	1	1	1	1	11	2	2	6	2	1	1	(4)	30 (4)

(2) 児童の状況

① ひまわり学園

ア 児童数

- ・ 定員 40名
- ・ 令和5年4月1日新入園児 8名 (男5名 女3名)
- ・ 令和5年4月1日現在 36名 (男23名 女13名)
- ・ 年度内入園 7名 (男7名 女0名)
- ・ 年度内退園 4名 (男1名 女3名)
- ・ 令和6年3月31日現在 39名 (男29名 女10名)
- ・ 令和6年3月退, 卒園児 10名 (男7名 女3名)
- ・ 利用延児童数 7,435人 (令和4年度7,976人/年)
- ・ 利用児童1日平均 31.6人/日 (令和4年度33.9人/日)

イ 月別入・退園状況(各月末日現在)

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍数	男	24	24	25	25	27	27	27	29	30	30	29	29	326
	女	12	12	12	12	11	11	10	10	10	10	10	10	130
	計	36	36	37	37	38	38	37	39	40	40	39	39	456
入園	男	6	0	1	0	2	0	0	2	1	0	0	0	12
	女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	8

退園	男													
	女	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	6

(人)

ウ 退園児童の進路

進路 男女	保育園	幼稚園	小学校	特別支援 学級	特別支援 学校	他事業所	転出	計
	男	2	2	0	1	3	0	0
女	0	2	0	0	2	1	1	6
計	2	4	0	1	5	1	1	14

② 親子通園事業

ア 児童数

- ・ 令和5年4月1日現在 19名 (男 12名 女 7名)
- ・ 年度内入園(4月6日以降) 44名 (男21名 女 23名)
- ・ 年度内退園児 36名 (男 21名 女 15名)
- ・ 令和6年3月31日現在現在 27名 (男12名 女15名)
- ・ 令和4年3月退園児 18名 (男14名 女 4名)
- ・ 登園児総数 1,395人/年 (令和4年度1,044人/年)
- ・ 1日平均登園児数
 - わらしっこ教室 3.5人
 - わらしっこ都南教室 3.5人
 - わらしっこ玉山教室 0人

イ 月別入・退園状況(各月末日現在) (人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍数	男	22	21	22	24	23	23	25	25	24	24	23	18	274
	女	2	4	5	7	8	8	9	9	12	12	12	9	97
	計	24	25	27	31	31	31	34	34	36	36	35	27	371
入園	男	5	2	3	5	0	3	2	3	2	2	1	2	30
	女	0	2	1	3	1	0	1	1	3	0	2	0	14
退園	男	0	3	2	3	1	3	0	3	3	4	0	7	29
	女	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	3	7

ウ 退園後の進路

(人)

年齢 進路	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
認定こども園	0	3	1	5	1	0	0	10
幼稚園	0	0	1	5	1	0	0	7
保育所	0	1	5	0	0	0	0	6
ひまわり学園	0	0	2	1	0	0	0	3
児童発達支援事業所	0	0	2	0	0	0	0	2

つくしんぼ	0	0	0	0	2	0	0	2
転出	0	1	3	1	0	1	0	6
計	0	5	14	12	4	1	0	36

5 事業実施の状況

- (1) 児童福祉法第43条に規定する児童発達支援センターとしての設置目的を踏まえ、将来、社会生活へ適応し自立できるよう、個々の児童の特性に応じて、基本的な生活習慣、身辺処理能力、コミュニケーション能力等の向上に努めた。
- (2) 個別支援計画に係る個別面談を保護者参画のもと実施し、家庭、学園での状況等の情報を共有しながら個別支援計画を策定するとともに、児童の生活の基盤となる家庭生活への支援の充実と療育の充実を図った。
- (3) 盛岡市からの受託事業の親子通園事業は、障がい等により支援を必要とする乳幼児をその初期において保護者とともに療育指導し、保護者に対して支援を必要とすることについての正しい理解と家庭での指導の方法及び療育等についての相談や助言を行った。また、保護者支援として、保護者学習会年5回、保護者懇話会年2回、ふれあいペアレントプログラム年2回、リハビリ相談会年6回を実施し、保護者が自信をもって子育てに向き合えるよう支援の充実を図った。ひまわり学園内の「わらしこ教室」と盛岡地域福祉センター内の「わらしこ都南教室」の2教室で実施し、玉山教室は教室利用を必要とする児童がいなかったため開催しなかった。
- (4) 家族の就労支援及び障がいを持つ児童を日常的に介護している家族の休息を図ることを目的として、平日の午後3時から午後7時までと土曜日の午前10時から午後3時まで日中一時支援事業を実施し、利用者サービスの充実を図った。
- (5) おもちゃ図書館事業は、心身に障害のある児童の健やかな成長を助長するため、おもちゃを備え、遊びの場の提供及び貸し出しを行う事業として、毎月第1・3土曜日の開館を計画していたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開館しなかった。
- (6) 岩手県障がい者自立支援協議会、盛岡広域圏障がい者自立支援協議会、盛岡市自立支援協議会、岩手県知的障害者福祉協会、岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会中央ブロック、盛岡市教育支援委員会、盛岡市乳幼児総合診査運営委員会等に委員として参加し、岩手県、盛岡広域圏、盛岡市関係機関との連携を図りながら障がい児が直面する課題解決に向けて検討を行った。
- (7) 児童発達支援センターに求められている地域支援として保育所等訪問支援事業や相談支援事業に取り組んだ。保育所等訪問では、幼稚園に就園した児童への対応や就学に向けて取り組むことなど必要な支援や助言を行った。また、盛岡市立保育園6園の発達支援保育巡回指導に職員を派遣した。

(8) 行事

月	共通行事	学 園	親子通園
4	園内研修	入園式 内科健診	はじまりの会
5	園内研修	こいのぼり会 個別面談	保護者学習会①
6		歯科健診 親子体操教室	リハビリ相談会 保護者学習会② ふれあいペアレントプログラム1回目①②③
7	園内研修	創立記念日 プール教室 七夕会 眼科健診 耳鼻科健診	ふれあいペアレントプログラム1回目④⑤

8	園内研修	夏季保護者会 夏季居宅指導	保護者学習会③ ひまわり学園見学会①
9		うどん会 プール教室	保護者学習会④
10	園内研修	内科健診 個別面談 プール教室 みたけ保育園交流会	リハビリ相談会 ふれあいペアレントプログラム2回目①②
11	総合消防訓練 園内研修	焼き芋会 合同作品展 プール教室	ふれあいペアレントプログラム2回目③④
12	園内研修	クリスマス会 冬季居宅指導	クリスマス会 リハビリ相談会 保護者学習会⑤ ひまわり学園見学会②
1	園内研修	もちつき会	リハビリ相談会
2		豆まき会 おたのしみ会	運営委員会
3		ひなまつり会 個別面談 卒園式	

定例的行事

- ① 共通行事 避難訓練 毎月1回
- ② 学園 職員会議 毎月1回、指導会議 毎月1回、体重測定 毎月1回、身体測定 年2回
誕生会 毎月1回
- ③ 親子通園 職員会議 毎月1回、指導会議 毎月1回、
誕生会 児童の誕生日に合わせて開催
すだちの会 児童のすだちの日に合わせて開催

(9) 日中一時支援事業実施状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	88	108	120	124	124	105	135	147	135	128	136	121	1,471 (1,089)

() 内は前年度数

(10) 保育所等訪問支援事業の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
保育所訪問(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)

() 内は前年

(11) 相談支援事業の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談支援(件)	24	28	27	23	22	21	26	14	20	27	20	17	269 (244)

() 内は前年度数

(12) おもちゃ図書館利用状況

① 開館日数 0日 (0日)

② 利用者数 0人 (0人)

③ 貸出件数 0件 (0件)

※ () 内は前年度数

(13) 盛岡市委託事業 盛岡市子ども発達支援事業所『ひまわり』事業実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話 相談	7 (8)	8 (9)	7	7	12	3	12	2	10	3	3	1	75 (77)
面接 相談	1	1	2	1	0	0	2	0	0	0	0	1	8 (8)
巡回 訪問	2 (7)	12 (65)	18 (102)	13 (60)	14 (76)	16 (100)	17 (77)	17 (93)	18 (87)	12 (63)	10 (57)	7 (32)	156 (819)
計	10 (16)	21 (75)	27 (111)	21 (68)	26 (88)	19 (103)	31 (91)	19 (95)	28 (97)	15 (66)	13 (60)	9 (34)	239 (904)

単位：件 () 内は人数

6 その他

(1) 関係機関との連携

盛岡市母子健康課と親子教室、乳幼児総合診査事業への職員派遣や盛岡市教育委員会、盛岡市障がい福祉課、子育てあんしん課等との情報交換を中心として連携を深めた。

(2) 地域との交流

地区子供会(前九年三丁目子供会)と園児との交流会を4年ぶりに開催し、クラスでの活動を通して交流を図った。ひまわりまつり、うんどう会等の行事に地区住民、関係機関を招待し、地域連携を図る計画であったが、新型コロナウイルス感染症防止のため実施しなかった。

(3) その他

地区子供会との除草奉仕活動と厨川小学校の子ども会で実施している資源回収(古紙を出し協力している～年2回)は、新型コロナウイルス感染症防止のため実施しなかった。